

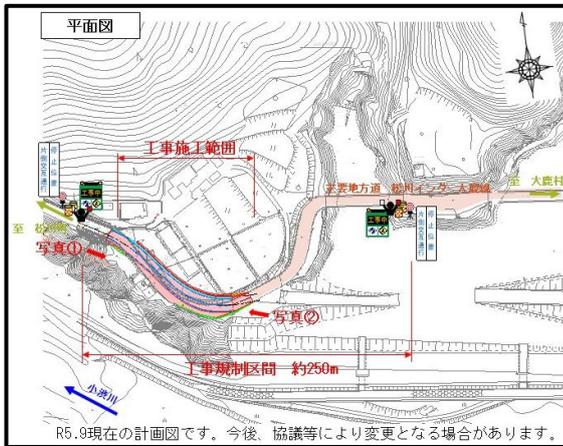
第29回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見を共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が9月26日に交流センター於いて、関係者47名が出席し開催されました。以下に概要をお知らせします。

① (主)松川インター大鹿線改良工事について

・(主)松川インター大鹿線について、実施中及び完了済みの箇所について説明がありました。

- ① 道路改良工事(葛島): 関係機関と協議中
- ② 道路改良工事(二軒屋): 調査・設計、道路拡幅工事(松川町側)



◆工事に伴う交通規制について

工事はこれまで交通規制をなるべく行わないように民地側から施工してきましたが、工事進捗に伴い、現道擦付部や舗装工事(路盤工を含む)に移ってきています。このため、9月中旬以降「片側交互通行」規制を実施しています。

■交通規制(片側交互通行)実施期間:

令和5年9月20日~12月上旬

- ③ 道路改良工事(半の沢): 盛土造成工事
- ④ 防災対策工事(四徳大橋西): 関係機関と協議中
- ⑤ 道路情報提供設備: 西下トンネル~東山トンネル 道路情報カメラ5基設置(接続工事中)
東山トンネル 電光表示板3基設置(施工完了)
- トンネル工事(落合トンネル): トンネル工事中
- 修繕工事(橋梁補修): 滝沢橋、しゃくし沢橋(施工完了)

② 南アルプストンネル工事について

【小笠川非常口】

- ・本坑(品川方)の掘削を進めています。
- ・掘削した発生土(蛇紋岩)のうち、9月11日掘削分以降について、自然由来重金属等の溶出試験の結果、「ほう素」の項目で基準値を超過した結果が確認されました。これまでの蛇紋岩と同様にトンネル内に仮置きしております。

【除山・釜沢非常口】

- ・釜沢非常口からは、本坑(品川方)の掘削を進めておりました。
- ・今後、小河内沢川との交差に向け、先進坑(品川方)に戻り、掘削を行います。
- ・除山非常口からは、先進坑(品川方)の掘削を進めておりました。
- ・今後の本坑掘削に向け、準備作業を行っています。



小笠川非常口 施工状況

③ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

- ・青木川非常口からは、本線に平行する小さい断面のトンネル（調査用トンネル）の掘削を引き続き進めております。

④ 工事用車両台数について

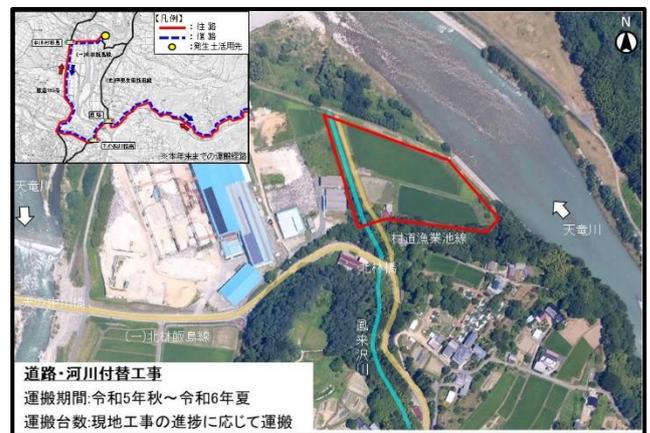
月別日平均 往復台数			2023年(R5年)				2024年(R6年)
			1月～3月 予定	4月～6月 予定	7月～9月 予定	10月～12月 予定	1月～3月 予定
資機材運搬			60	60	60	60	60
発生土運搬	JR工事による 発生土運搬車両	伊那C工業団地 (伊那市)	240	240	240	240	240
		上赤須 (駒ヶ根市)	140～160				
		中沢 (駒ヶ根市)			300	300	300
		前河原 (松川町)					
	三共 (中川村)						
半の沢道路改築事業への 発生土運搬車両			300	360	300	300	300
合計			740 ～760	660	900	900	900

※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

【前河原道路新設事業古町地区（松川町）】



【三共地区公共施設整備事業（中川村）】



■ 資機材運搬車両

月別日平均 往復台数		下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
JR工事による 発生土運搬車両	R5.6 実績	14.3	55.6	19.1	25.9	25.7
	R5.7 実績	9.3	62.7	18.9	22.1	22.0
	R5.8 実績	8.3	50.3	15.8	19.8	19.7
	R5.9 実績	14.0	53.5	19.4	24.0	24.0
	R5.10 ～R5.12 予定	30.0	80.0	60.0	60.0	50.0

※ 「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日で割り戻した数値です。

※ R5.9の台数は、9/15までの実績台数です。

■ 発生土運搬車両

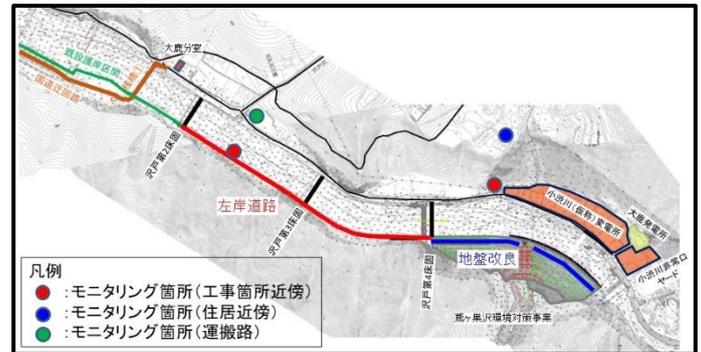
月別日平均 往復台数		下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
JR工事による 発生土運搬車両	実績	R5.6	43.3	164.9	208.2	208.2
		R5.7	67.2	171.3	238.5	238.5
		R5.8	75.2	195.7	270.9	270.9
		R5.9	95.5	181.6	277.1	277.1
	予定	R5.10 ～R5.12	140.0	400.0	540.0	540.0
半の沢道路改築事業 への発生土運搬車両	実績	R5.6	258.7	258.7	258.7	
		R5.7	286.7	286.7	286.7	
		R5.8	278.6	278.6	278.6	
		R5.9	255.8	255.8	255.8	
	予定	R5.10 ～R5.12	300.0	300.0	300.0	
R5.10～R5.12 発生土運搬車両台数合計			1400	7000	8400	8400
					5400	

⑤ 鳶ヶ巣沢環境対策事業の状況について

- 河川の流量を踏まえ、非出水期の期間（令和5年5月まで）で工事を行い、現在は工事を中断しています。次の非出水期（令和5年11月～）に工事を再開します。工事は地盤改良と左岸道路構築を予定しています。

■ 工事中の安全管理

- 盛土等（左岸道路含む）の一部に蛇紋岩を活用するため、工事中は、適切に散水するとともに、念のため粉じんに関するモニタリングを行います。モニタリング箇所は施工箇所合わせて適宜変更します。また、蛇紋岩は、鳶ヶ巣盛土本体や左岸道路の盛土内部材に活用し、表面を通常の土砂等で覆います。



⑥ 不溶化試験施工の状況と今後の予定

- 不溶化の試験施工については、5月末に擁壁及び盛土の構築が完了し、重金属等の測定について、これまですべて基準値内であることを確認しています。
- 7月15日に大鹿村リニア連絡協議会委員の皆様、8月17日に飯田市長はじめ南信州広域連合の皆様にご視察いただきました。
- 対策土活用の検討にあたっては、有識者が参加する検討会を開催しております。次回検討会は、試験施工における不溶化効果の結果等について、確認いただく予定です。（長野県にもオブザーバーとして参加いただいています）



7月15日の視察状況
（大鹿村リニア連絡協議会委員の皆様）



8月17日の視察状況
（飯田市長はじめ南信州広域連合の皆様）

⑦ 中部電力パワーグリッド工事について

【送電線工事について】※表の赤字は、前回からの変更箇所を示しています。

- ・本体工事は、No.22 の組立工事、No.26、No.28 の基礎工事、No.21～No.25 間の架線工事が完了しました。
- ・10 月からNo.21～24 間の仮設撤去工事に着手します。

地区名	鉄塔番号	工事の進捗状況		
		準備工事（伐採）	本体工事	
豊丘村	No.20	完了	緑化完了	2024 年 8 月頃～仮設撤去工事
松川町	No.21	完了	架線工事完了	2023 年 6 月頃～大鹿側架線工事
下青木 (大西山)	No.22	完了	架線工事完了	2023 年 10 月頃～仮設撤去工事
	No.23	完了	架線工事完了	2023 年 10 月頃～仮設撤去工事
	No.24	完了	架線工事完了	2023 年 10 月頃～仮設撤去工事
下青木	No.25	完了	架線工事完了	2024 年 7 月頃～変電所側架線工事
北の原	No.26	完了	基礎工事完了	2024 年 4 月頃～組立工事
	No.27	完了	組立工事完了	2024 年 7 月頃～架線工事
	No.28	完了	基礎工事完了	2023 年 11 月頃～組立工事
上蔵	No.29	完了	組立工事完了	2024 年 7 月頃～架線工事
	No.30	2024 年 2 月頃～	—	2024 年 3 月頃～仮設工事

■施工実績

工種	伐採	仮設	基礎	組立	架線	緑化
完了数	8 基/9 基	8 基/9 基	8 基/9 基	6 基/9 基	4 径間/10 径間	0 基/9 基
内訳	No.22～29	No.22～29	No.22～26 27,28,29	No.22,23～25 27,29	No.21～25	—

■工事用車両の通行台数（実績と予定）

（単位：往復台数）

月	実績						今後の予定		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別日 平均台数	2.3 台	2.8 台	2.9 台	2.6 台	3.5 台	6.4 台	6.2 台	6.4 台	2.8 台

■2023年度ヘリコプターの運行計画（実績と予定）

- ・No.22、No.23 の仮設撤去に伴い、ヘリコプターによる資機材の輸送を行います。
- ・ヘリ運航は、2023 年 12 月末で終了する予定です。

（ただし、仮設撤去工事が未完了の場合は、2024 年度もヘリ運航する可能性があります。）

月	実績		今後の予定					
	4～9月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運航日数	2 日	1 日	10 日	10 日	10 日	0 日	0 日	0 日

＜ヘリ運航時の配慮事項＞ ※天候や各鉄塔の施工進捗状況により、運航日数や回数は増減します。

- ・できるだけ2基の運航日程を合わせて運航日数を少なくする。
- ・土曜日の運航は極力避ける。祝日の運航はイベントを考慮して決定する。
- ・昼休み時間帯は運航を避ける。

○次回（第30回）開催日程等について

- ・次回開催時期を令和5年12月18日の週とし閉会しました。